

④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

加賀地域の食品リサイクルから生まれた堆肥を用いて生産する農産物の生産・販売事業

加賀市内の家庭等から排出された食品残渣から製造した堆肥を活用し、栽培した各種農産物を「循環型農業の成果物」として販売。当該農産物は“加賀五菜”としてブランド化し、地域一体となって循環型リサイクルシステムの拡大を図る。
 ※加賀五菜とは、「九谷焼」の彩法「九谷五彩」を基に、「食」・「環」・「癒」・「技」・「美」が一体となった農産物を訴求するブランドの名称

➤ 連携体

農林漁業者 (株)なっば会(農業)

食品残渣から製造した堆肥の使用基準の策定等による“加賀五菜”の栽培及びブランド化に取り組む。

中小企業者 資源エコロジーリサイクル事業(協)(有機質肥料製造業、その他の食料品製造業)

発酵技術を活用した食品残渣からの堆肥製造、堆肥化施設導入、及び、農作物加工による安定供給に取り組む。
竹内日出夫、社会福祉法人あぐり加賀、(有)安井ファーム、木谷久栄、中出孝、松下豊等

連携参加者 10者(以上、農業)

堆肥の使用マニュアルに従い、各種農産物(加賀五菜)の栽培に取り組む。

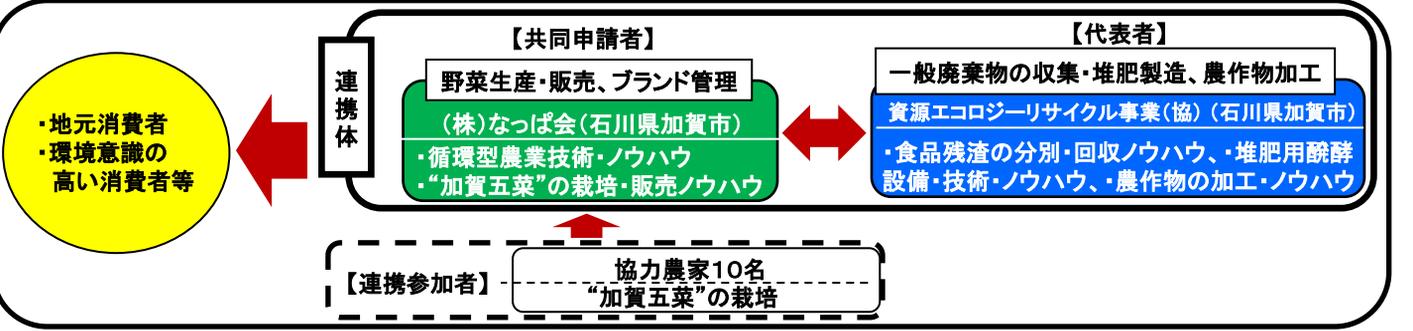
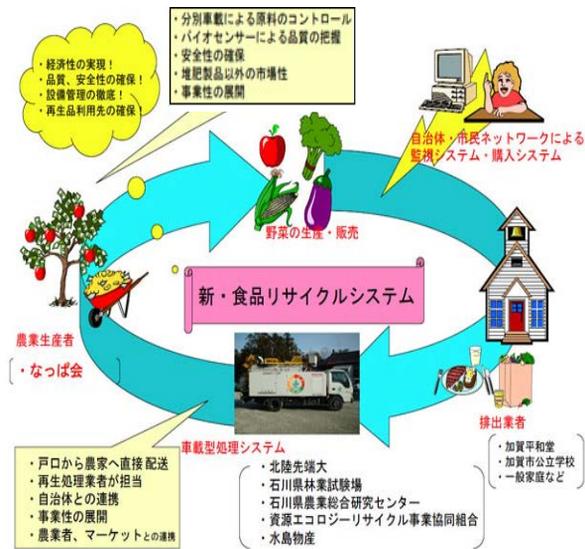
サポート機関等 加賀市、かが市民環境会議、(独)中小企業基盤整備機構北陸支部

➤ 連携の経緯

(株)なっば会と資源エコロジーリサイクル事業(協)は、かが市民環境会議等の市民団体及び加賀市と連携してリサイクル事業を展開していたが、成果物である各種農産物については、他の地場産品や他地域の農産物等との差別化が図れないという課題に直面した。そこで、主たるターゲットである「リサイクル参加者」に対して、リサイクル活動の成果を「見える化」し、食品残渣から製造される堆肥を一定量以上使用した各種農産物を“加賀五菜”として販売し、ブランド化を目指す事業を開始した。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

資源エコロジーリサイクル事業(協)は食品残渣をバクテリアによる堆肥化処理及び亜臨界分解装置による堆肥(液肥)化処理で堆肥製造を実施。更にリサイクル事業として貢献度向上を図るため、農作物の加工・販売にも取り組む。一方、(株)なっば会では、“加賀五菜”のブランド化及び農産物の品質安定化のため、堆肥の使用基準及び使用マニュアルを策定する。また、かが市民環境会議等の市民団体や加賀市とも連携して、地域一体となった循環型リサイクルシステムの拡大・増強を図り、持続可能な循環型農業を目指すとともに、地域に愛される農産物“加賀五菜”の販路拡大に取り組む。



➤ 連携による効果

農林漁業者 5年で2億9700万円の売上高増加、“加賀五菜”のブランド化、循環型農業による安定供給

“加賀五菜”のブランド化により、持続可能な循環型農業の確立及び地産地消の推進が期待される。

中小企業者 5年で1億2692万円の売上高増加、堆肥の高付加価値化、循環型リサイクルシステムの拡大増強

“加賀五菜”のブランド化により、堆肥の高付加価値化が図られ、循環型リサイクルシステムの拡大・増強が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名	: 資源エコロジーリサイクル事業協同組合	所在地	: 石川県加賀市大聖寺番場町7番地
T E L	: 0761-74-5323	F A X	: 0761-74-4824
E - m a i l	: -	ホームページ	: -